

民生部門の省エネへ向けた「電気代そのまま払い」 － 実証実験の経過と日本・世界の動向－

家庭部門及び業務部門の大幅な省エネを目的とするシステム「電気代そのまま払い」の実装に向けて実証実験をスタート、加えて、諸外国における初期投資ゼロの低炭素投資促進施策を紹介

■ 「電気代そのまま払い」実証実験

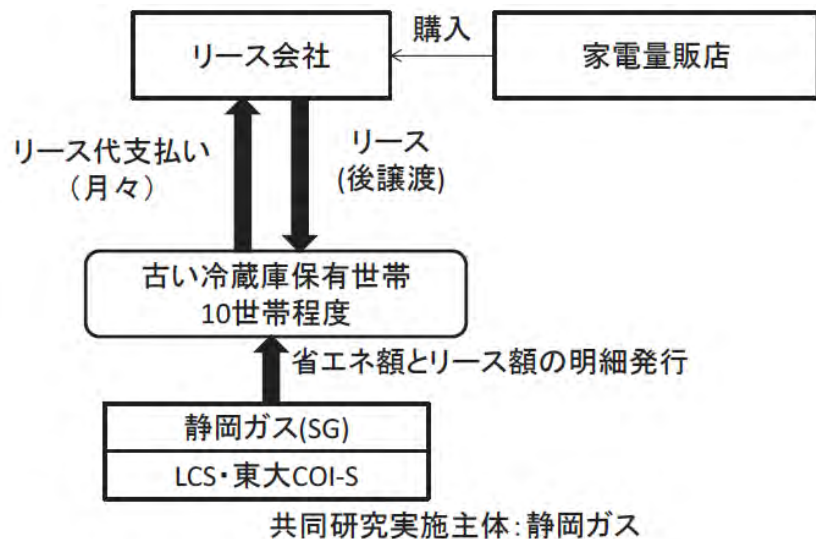
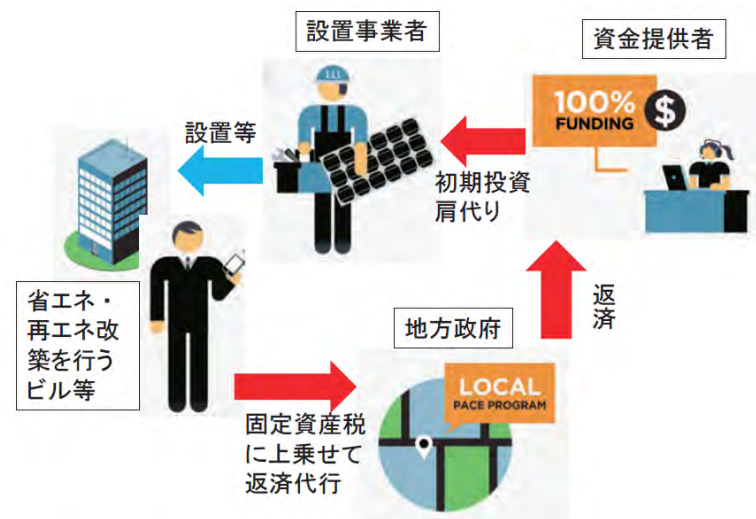


図1 静岡ガスとプロジェクトチームによる実証実験の枠組み概要

■ 諸外国における施策例



出典：PACEnow 提供資料をもとに作成

図2 米国PACEの枠組み

今後の課題と提案

- ・ LCS・東京大学COI-S・プラチナ構想ネットワークにて「電気代そのまま払い」を提案、実証実験を実施している。
- ・ 初期投資のハードルを乗り越えようとする他国の事例も参照しながら、日本の家庭・小規模業務部門の省エネを大幅に進める枠組みについて、実証実験をさらにバージョンアップする。
- ・ 与信を得にくい小規模な家庭・業務・産業部門の事業者に対して、6年目以降の保証を行う公的ファンドの創設や、ソーラーパネル・蓄電池の残価保証をするための公的な買い取り制度の整備についても検討していく。